

私のすすめるこの1冊

小山 宏之（体育学科 准教授）

『勝利はすべて、ミッションから始まる』

村上恭和（著）

この本は、女子卓球日本代表がロンドン五輪（2012）で団体銀メダル獲得までに至った「戦略・思考」を代表監督の視点から描いたものです。

本の紹介の前に、少し私（小山）が関わってきた陸上日本代表とのエピソードに触れてみます。私は日本男子走幅跳の強化のために、代表候補選手のデータを測定し、コーチや選手と対策を考える事を長年してきました。関わり始めた頃、国際大会で日本選手が活躍するためには、記録以外にどのような数値（指標）をデータ上満たしていけばよいのか？コーチや選手は誰も明確な指標を持っていませんでした。そこから5年以上がたち、今は確かな指標が確立され、日本チームで共有されています。指標はある意味残酷で、その数値を上回れば記録が出る可能性はありますが、一方でその数値に達しないとほぼ間違いなく目標記録を跳躍できない事を意味します。しかし、確実に狙いやすべき指標（本の言葉を借りればミッション）が明らかになったことは、日本男子走幅跳を1段階上のレベルに押し上げました。国際大会の1つである東京オリンピックが終われば、日本チームは新たなミッションを立て始めると思います。

さて、前置きが長くなりました。この本は日本代表を題材にしているため、書かれたことは雲の上の存在であると感じるかもしれません。しかし、一度これらの事例を自分自身の身近な部分に落とし込んでみてはどうでしょうか？それは、同じように競技場面かもしれませんし、大学生活、教育実習、授業の指導案作りなど、直接つながらないように感じる場面まで思考が広がるかもしれません。

本の前半の一部を紹介します。

著者である村上氏が、北京五輪（ロンドン五輪の前大会）の3位決定戦でコーチとして観客席から見ていたのを振り返ったシーン。「僕は、観客席で冷静にゲームを眺

めていた。そして、こう思った。やっぱり負けたか」。競技場面に関わらず、みなさんも多くの状況で上手いかわない、失敗した、敗北した、そんな状況に直面していると思います。村上氏はこう言います。「勝ち」に不思議はあるが、「負け」に不思議はない、だから「勝利」は「敗北」の始まりだと信じている。「原因」を突き止めれば「戦略」は見えてくる。

そして、この北京五輪後に監督に就任した村上氏はチームスタッフといくつかの「戦略」をたてます。その戦略の1つを決定づける考え方として、『ルールを制する者が、勝負を制する。勝つためには強くなればよいと単純に考える人がいるが、これは戦略でも何でも無い。戦い方は状況によって異なる。そして、スポーツにおいて状況を大きく左右するものに、「ルール」がある。』と述べています。ロンドン五輪の結果を知っていた人もいるかと思いますが、ルールまでは知らなかったのではないのでしょうか？『当時、16チームが出場する団体戦は予選リーグの後に決勝トーナメントとなり、4チームによる決勝トーナメントの組み合わせは本大会前のある条件と関係することがルール化されていた』。村上氏はこのルールを最大限活用すべく、決勝トーナメント初戦で最大のライバル国である中国との対戦を回避するために、チームで共有する「戦略」をたてた。

この本は日本代表監督であった村上氏が考えるリーダーの「戦略思考」を教えてくださいますが、同時にスポットライトが当たる試合に至るまでの過程についても深く教えてください。オリンピック・パラリンピックが開催される中、選手の活躍が多く報じられると思います。ぜひ、その活躍を表面的に楽しむだけでなく、その背後にある過程・戦略まで思いを馳せるとともに、自分自身の身近な場面に置き換えてスポーツを見るのも良いかもしれません。

ブックレポート展示コーナー

テーマは「真面目に勉強はカッコ悪くない！一歩先を行きたい京教生のためのおすすめ本！」

必修科目「教育の理念と歴史」（神代准教授担当分）との協働企画として、受講生が選んだ図書館の本と、内容やおすすめポイントをまとめたブックレポートをセットにして館内に展示します。学生目線で選ばれた本と、力作のレポートをぜひご覧ください！



【展示場所】1階渡り廊下

【展示期間】7月19日（月）～8月11日（水）



臨時閲覧室

試験期間中の利用増加に対応し、1階、2階の閲覧席数半減、個人学習室利用中止は継続しつつ、企画展示室に臨時閲覧席を設置いたしました。



大漢和辞典を JapanKnowledge で検索できるようになりました！



『大漢和辞典』は詩経・論語などの古典から明・清の小説にいたるまであらゆる時代の漢字を網羅し、親字5万字、熟語53万語を収録した日本を代表する大辞典です。大学や研究機関での研究や寺社での祝詞の作成、文字コードの策定にいたるまで様々な利用をされてきました。JapanKnowledge から利用いただけますのでぜひ勉強・研究にご利用ください。

URL:<https://japanknowledge.com/library/>
(同時利用2アクセス。使用後はログアウトしてください。)

雑誌の製本作業について

8月から10月中旬（予定）まで、南館1階・西館3階にある雑誌のうち、2019年～2020年に発行されたものを中心に、一部の巻号が製本作業のため利用できなくなります。

製本後はすべて西館3階（書庫）に並べますので、そちらをご利用ください。
※作業中は製本対象リストを図書館ホームページに掲載する予定です。

学修相談カウンター（8月11日迄）

理数系の院生が、いろいろな質問に対応してくれます。勉強や就職のこと、先輩に相談してみませんか？

オンライン相談を始めました！
QRコードからアクセスしてください → → → →



（京都教育大学附属図書館 Web ページ）

※本サービスの対象者は本学学生のみです。学外の方、教職員は対象外となりますのでご了承ください。

※Webの「利用時の注意事項」をよく読んでご利用ください。

詳細はホームページやポスターで！



気軽に相談してください！

リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本や話題の本を一定期間揭示し、皆さんの投票で購入する本を決定する企画をしています！学生・教職員のみなさまからのリクエストをお待ちしています。どんどん参加してください！リクエストは随時受付中です。

8月の投票期間は

8月2日（月）～8月20日（金）

※次回は10月の予定です

※結果によっては購入できないこともあります。

※学習研究目的のものは原則として購入しています。

ぜひ参加してくださいね！

京都教育大学
それはかなう夢講座

「先生になりたい - それはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。特に、小学校の先生になりたいと思っている学生の皆さんのご参加をお待ちしています。

第 27 回の報告

YouTubeで公開されました。
※現在も視聴できますのでどうぞ！



https://www.youtube.com/watch?v=oX_c-yJV-Tw

※今回はYouTube公開のみです

【講師】石川 誠（社会科学科 教授）
【テーマ】環境問題を経済学で考える

主催：「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援：京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

日曜開館を実施します



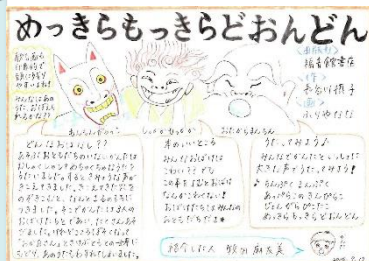
試験期間前の日曜日（8月1日）を9時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひご利用ください！（8月8日は祝日（山の日）のため開館いたしませんので、ご注意ください。）

児童書コーナー（南館1階）



★学生による絵本のよみかかせは、しばらくお休みです。

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。



今月の絵本カード（学生作）
『めっきらもっきらどおんどん』
作：長谷川摂子
絵：ふりやなな
出版社：福音館書店

オープンキャンパス



8月17日（火）9：30～13：00

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、対象者の限定及び募集人員の縮小、並びに開催時間を短縮する形での実施となりました。

附属図書館は見学コースではなく、学外者は卒業生以外当面の間入館いただけないため、多数の入場者はありません。通常開館しておりますので学内者は利用可能です。よろしくお願いいたします。

夏季休業に伴う長期貸出について

学部生：7月29日（木）～9月22日（水）
院生・教職員：7月15日（木）～9月8日（水）
【返却期限日】10月8日（金）
※卒業・修了予定者は9月10日（金）まで

企画展示室

同好会作品展 KITE・paint the sky my color（報告）

【会期】7月5日（月）～7月16日（金）



教育資料館 まなびの森ミュージアム

【8月の開館日時】
2日（月）、23日（月）、30日（月）14：00～17：00

今月の逸品（8・9月）

『少年期を戦争の中で育った私一孫の頼みに心える戦争体験記』

展示場所：図書館

教育資料館 まなびの森ミュージアム
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>



論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **藪根 敏和** (体育学科 教授)

投げ動作、受身動作を側方から観察した場合の評価の観点と、評価基準の作成

藪根 敏和

京都教育大学紀要 2021, No.138, pp.29-42

本研究のテーマは、柔道授業で学習する投技や受身の技能評価です。柔道の投技を観察する場合、試技者の後方からが最も多くの情報を得ることができます。そこで、試技者後方から撮影した動画から動作を評価する評価基準を作成し、これまでの授業で用いてきました。

この評価基準に関して、評価の観点については研究結果に基づいて導き出しているのですが、基準となる配点に関しては点数配分に確証がなかったため、その妥当性を検討するための研究を追加しました。その研究は取(試技者)の動作と受(被試技者)の崩れの関係を分析する内容だったので、撮影は試技者の側方からも行いました。その結果、側方の映像からは、取と受の動きの関係がより明快に確認できることに気づきました。

投技や受身の技能向上には取、受の協力が不可欠なので、両者の動きの関係が観察しやすい試技側方からの評価基準の作成は、意義ある試みになるに違いありません。以上のように考えて、本研究に着手しました。

本研究では先ず側方からの動作評価基準を作成し、それによって側方から撮影した試技を得点化しました。そして、すでに妥当性を確かめている後方からの動作評価基準によって後方から撮影した試技を得点化し、両者を比較しました。その結果、両得点間には有意な強い相関関係があり、新作した側方からの投技、受身評価基準の妥当性が確認できました。内容の詳細については、論文をご覧くださいと思います。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 138号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUER)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-21:00 ■9:00-17:00 ■休館(CLOSED)

2021年8月							2021年9月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

8/4-8/11 前期末試験

8/12-10/3 夏季休業

8/12-8/13 夏季一斉休業

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

9/1 館内整理日

9/4 大学院入試

●京都教育大学附属図書館ホームページ
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>

●携帯版 OPAC (QRコード) 
<https://tosh2.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do>

京教図書館 News No.251 (2021年8月号)

発行日:2021年8月2日

編集発行:京都教育大学附属図書館

問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

 国立大学法人
京都教育大学
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION